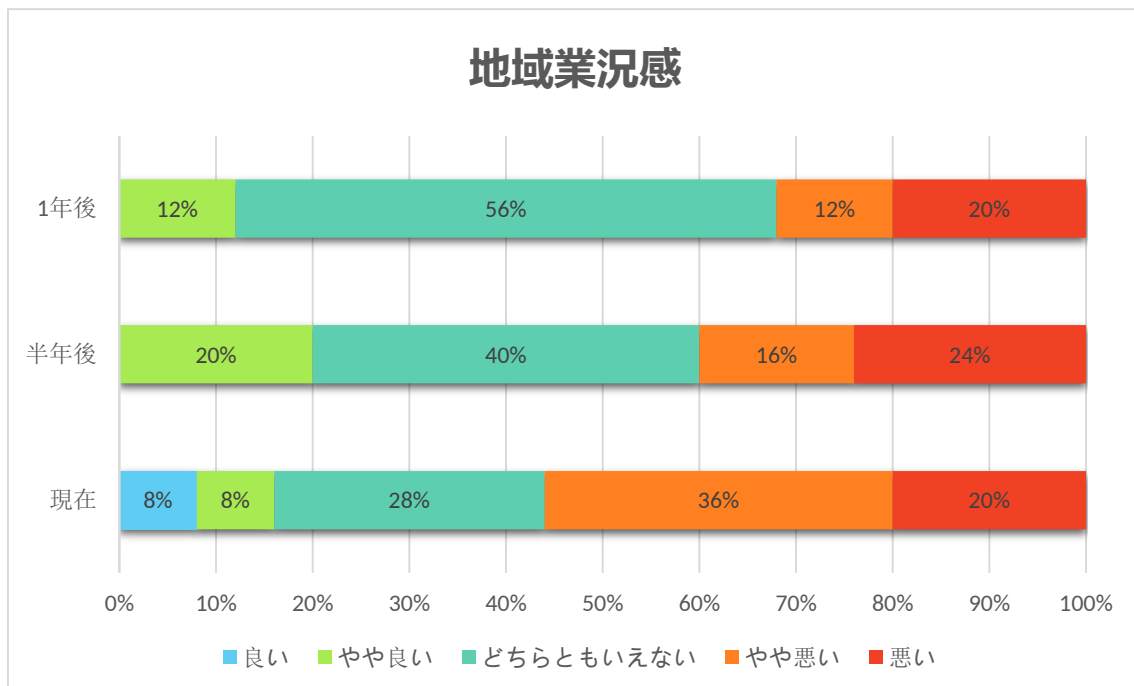
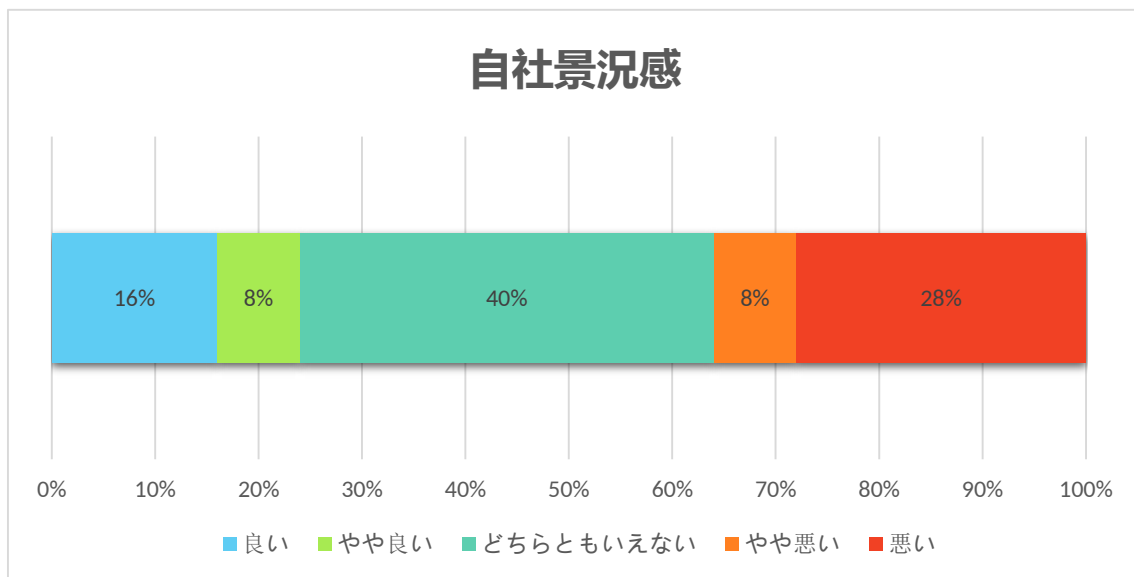


# 令和2年度 地域業界動向調査結果（サービス業）

N=25

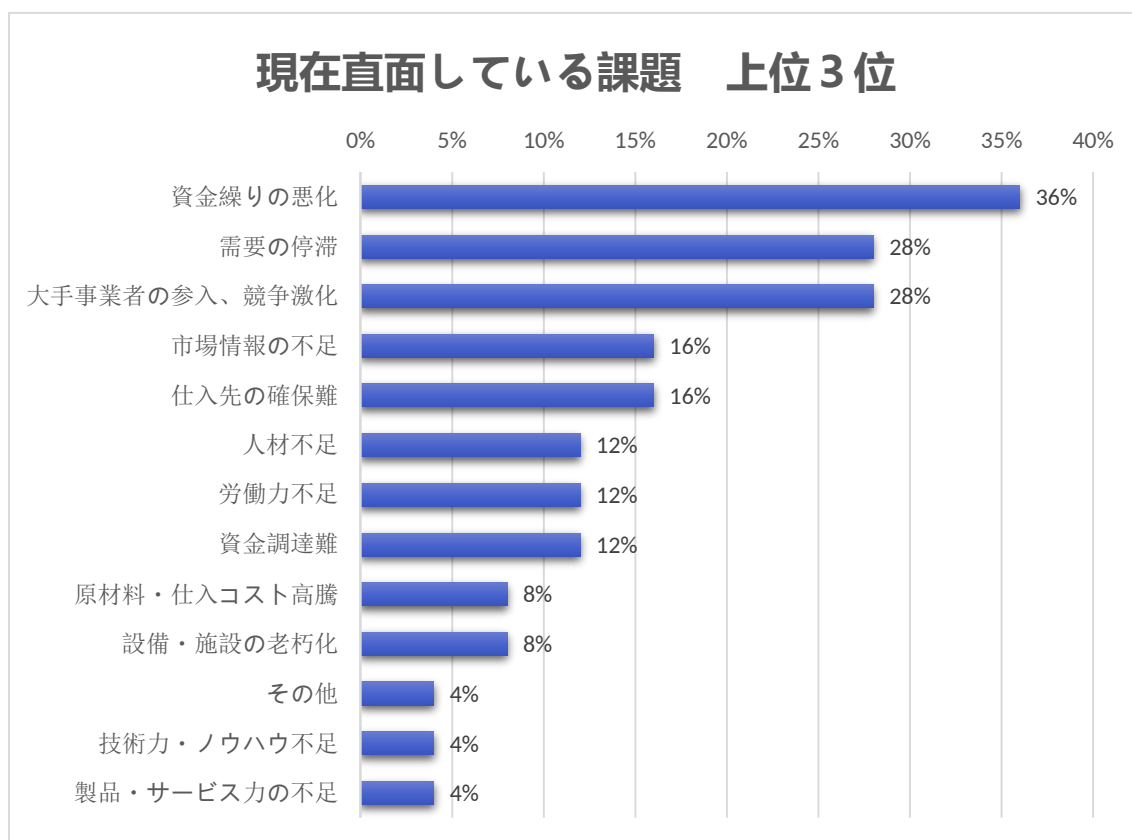
## ■景況感及び今後の見通しについて

自社景況感は「良い」（16%）、「悪い」（28%）と、事業者によって回答が大きく分かれることとなった。また1年後の地域業況感では「どちらともいえない」（56%）と半数以上が先の見通しが予測できないと回答した。



## ■現状の課題

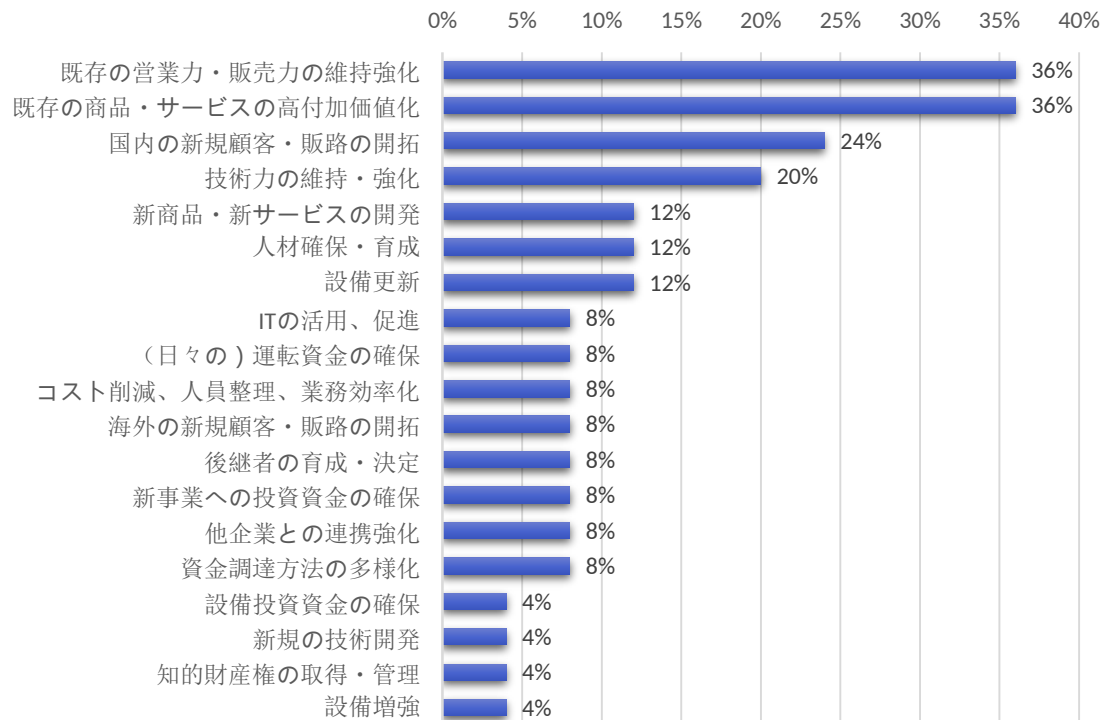
他業種と比べ多岐にわたるが、「資金繰りの悪化」(36%)、「需要の停滞」(28%)、「大手事業者の参入、競争激化」(28%)が上位3位となった。



#### ■今後の課題

今後の課題が多岐にわたっている中でも、「既存の営業力・販売力の維持強化」(36%)と「既存の商品・サービスの高付加価値化」(36%)が最多。なかなか先が見通せない中、今ある経営資源を有効に活用しようという思いがみられる。

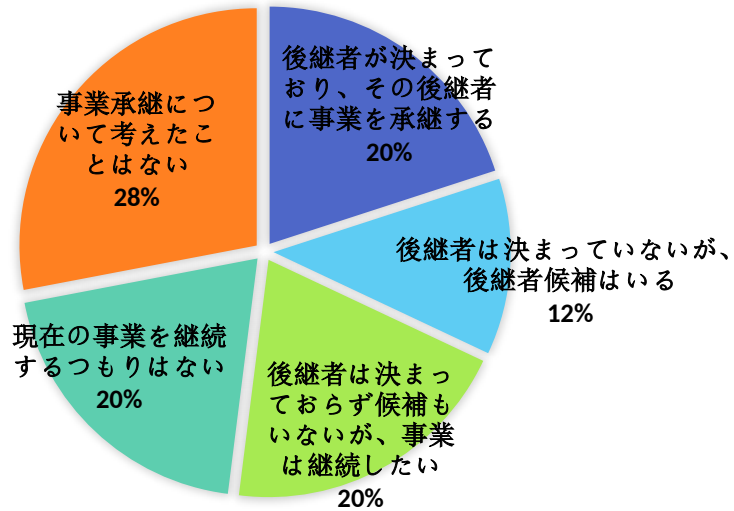
## 課題克服および経営基盤強化に向けて取り組んでいる、また取り組みたいこと 上位3位



### ■事業承継

「事業承継について考えたことはない」(28%)が最多。「現在の事業を継続するつもりはない」(20%)との回答も多い。

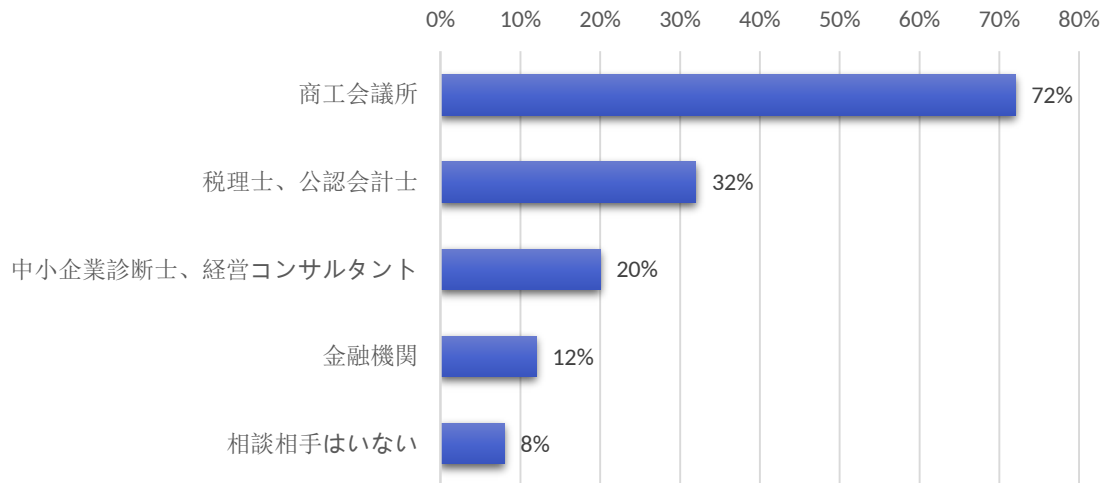
## 事業承継について



### ■事業経営についての相談相手

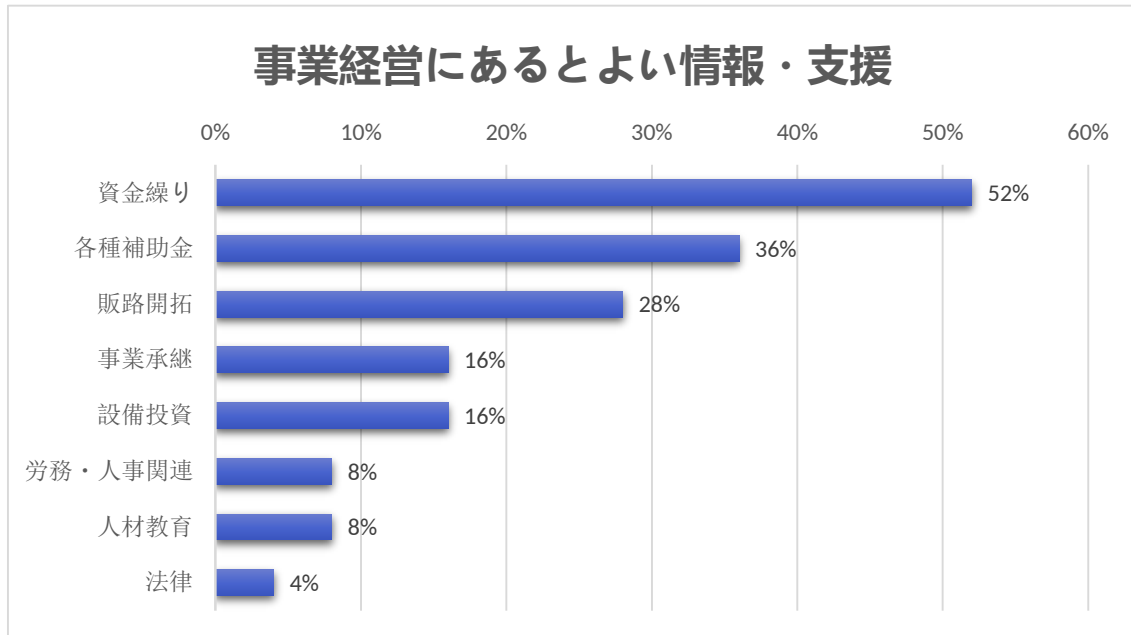
「商工会議所」(72%)の回答が最も多く、続いて「税理士、公認会計士」(32%)。

## 事業経営についての相談相手



### ■事業経営にあるとよい情報・支援

「資金繰り」(52%)が最多。「各種補助金」(36%)、「販路開拓」(28%)が後に続いた。小売業と同様、事業資金に関する情報を求めている事業者が多いと思われる。



#### ■ 総括

自社の況感については「良い」と「悪い」の2極化がみられた。地域業況感では1年後が「どちらともいえない」という回答が半数を超えるなど、先が見通せない状況を示しており、他業種とは異なった回答となっている。

新型コロナの影響を最も強く受けている業種。当面の資金繰りが最重要課題であり、スピーディーな支援が絶対である。

持続化給付金・家賃支援給付金・(実質無利子の)融資を活用している事業者が他業種と比較して相対的に多い。